

平成30年 第1回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成30年1月25日（木）

平成30年 第1回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成30年1月25日(木) 午後3時30分～
- 2 場所 小林市役所 2階 第1会議室
- 3 出席委員 槇健一郎 大部菌智子 椎屋芳樹 大角安子 中屋敷史生
- 4 参与職員 山下康代 日高智子 深田利広 大山和彦
(調整職員) 川俣洋寿
- 5 説明職員
- 6 会議内容

開会 15:30

槇委員長 お疲れさまです。

平成30年第1回小林市教育委員会定例会を開催したいと思います。よろしくお願ひします。

報告第1号定期監査の結果についてお願ひいたします。

山下教育部長兼学校教育課長事務取扱 それでは、報告第1号定期監査の結果についてご報告いたします。

2ページをお開きください。

毎年、地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく監査が実施されます。

2ページ、3ページに実施日がありますように、教育委員会の全ての職場で実施されました。

5ページからは、監査のそれぞれの指摘事項になるんですけども、昨年度と比較いたしますと、指摘事項は認められなかったという部署が、昨年は2カ所だったんですが、今年度は6カ所と増えたので、よかったと思っております。

社会教育課、野尻学校給食センター、小林学校給食センター、学校教育課につきましては、指摘事項は昨年度よりも減少しているんですけども、内容を見ますと、簡易な書類数、それから庶務を担当する職員の認識不足というものもありますので、今後はチェック体制や財務研修への積極的な参加を呼びかけていきたいと考えております。

報告については以上になります。

楨委員長

ありがとうございました。

何かご質問ないでしょうか。よろしいでしょうか。(なし)

それでは、報告第2号平成30年成人式についてお願いいたします。

日高社会教育課長 報告第2号平成30年成人式についてご報告申し上げます。

11ページからの資料になります。

まず、成人式に出席していただきましてありがとうございました。当日は雨が降りまして、足元が悪く、参加者の心配とか、新成人の着物が濡れないかなとか、滑る人がいて事故がないかななどの心配をしていたんですけども、大きな問題もなく、成功のうちに終わることができました。

11ページの出席状況を見ますと、上のほう全体の出席率ですけれども75.24%で、昨年、一昨年と80%を超えていた年と比べますと、若干減少はしましたけれども、新成人で構成をいたしました実行委員の参加者、実行委員が21名と多く、8月からの5カ月間、担当を中心に準備を進めてくれて、いい成人式になったかなと思っているところでございます。

アトラクションについても、小林出身のNOBUさんがとても忙しい中、小林のために出席していただいて成人式を盛り上げてくれて、すごくよかったなと思っております。

12ページからアンケートの結果を載せているんですけども、このアンケートの結果を見ますと、雨が降ったために、最終的に集合写真の撮影をエントランスで行いました。そのために、アンケートの回収がうまくいかずに、新成人の32名のみアンケート結果になりました。これについては、後ろに全体的な課題としてもありますが、雨の日の対応であったりとか、雨が降るかもしれないという意味でいろんなことを考えてやらなくてはいけないということで、課題の一つとなったところでございます。

実行委員が企画した恩師のビデオレターについて、13ページの実行委員企画、これについてのアンケートをとったところですけども、これについてはよかったという意見がほとんどで、恩師のビデオレターも実行委員が出身の中学校に連絡をとり撮影に行き、編集も自分たちで行って、手づくり感のある、気持ちの伝わるすごくいい成人式になっていたんだと思

っております。

今年大きく内容を変えたところで、親から子へのメッセージを募集しまして、朗読と合わせてスクリーンに投射をしました。日ごろ伝えられない親から子へのメッセージ、親の愛情をメッセージとして送ったということは、皆さんにとっても感動を与えることができたのではないかなと思っています。このメッセージなんですけれども、当日紹介できなかったものについても、新成人の受付の際に手渡したり、それ以外については郵便で確実にお子さんに届くような形をとったところがございます。これも担当者の本当に繊細な心遣いが感動につながったものと思っているところです。

15ページ、16ページに成人式の日程、それから開始時間等についてのアンケートなどを取りましたけれども、これについては、ほとんど9割ぐらい、1月5日、今までの実施、それから11時からの開始ということでもありますので、ここ10年来、1月5日で定着をしているというのものもあるのかなと思っています。このままで実施ができるといいなと思ったところがございます。

今後の課題といたしましては、17ページの表に今回のその成人式の反省点、これを含めて地域を挙げて新成人を祝福するという体制を確立していく必要があるのではないかとということで、今年は実現できませんでしたけれども、まちづくり協議会との連携、これをまた図りながら、新成人を育ててくれた故郷、これとのかかわりを成人式の間でも再認識できるような体制の構築も検討していきたいと思ったところがございます。

報告については以上です。

槇委員長

ありがとうございました。

何かご質問ないですか。

大角委員

我が子の成人式で大変お世話になりました。もう本当に雨の中、会場に向かうときに教育委員会の方が傘を差して駐車場のところにいらっしゃって、本当にありがたいなという思いを息子と話しながら会場に向かったところでした。雨が降ったから、駐車場のところで何人か新成人がぎりぎりだったような感じでしたが、何か案内に駐車場のこととかはありましたか。

日高社会教育課長 一応入れてはおります。

大角委員 そうだったんですね。自分はこの委員として出席するというのがあったもんだから、すごく前もって出たんですけども、みんな「まだ来んね、まだ来んね」と、「駐車場はどこにあるの」と声が聞かれました。そんな中のエントランスで急遽、集合写真を撮るとか、すごく何か臨機応変なスタッフの対応にも本当に感謝しかなかったです。

それで、5年生のメッセージが、たまたま息子が5年生だったので、ちょっと栗須小学校のところを大きく写真に残したんです。もらった後で読み返すときに字が小っちゃくなるので、そこがちょっともう一回り大きかったら、また帰って見直そうかなという気になるのかなという気がしました。息子も含め、新成人の中の声でも、本当にいい成人式だったと。お式もアトラクションも全て、もう会場を去るのが名残惜しいぐらい、本当に成人は一生に一度しかないし、いい思い出になる成人式だったなと思ったところですよ。ありがとうございました。

槇委員長 ほかに何かないですか、ご意見とか。

椎屋委員 小学生の挨拶が物すごくよくて、あれに感激して、うまく言えたなと思って関心をしたところでした。

日高社会教育課長 今回、リハーサルにも来ていただいたんですけども、そのときも原稿を見ずに、もうずっと自分の練習をしてきて、当日も完璧にさせていただいて、私たちもすごく感動しました。

大部菌委員長職務代理者 すみません。お願いですけども、やっぱり駐車場が、15分前ぐらいに行ったんですけども、もう満車状態で、離れたところに停めたんですけども、慈恵園から放送がありましたよね。皆さん知らずに、そこに入ったもんだから、もう式も始まる前の放送で誰も動かすこともできなかったことをやっぱりおっしゃっていました。

槇委員長 そこに来賓おりますもんね。

大部菌委員長職務代理者 そうですね、だから、来賓の方も時間はそんなにぎりぎりには見えないと思うんですけども、それでももうかなり近くは停める所がなかった。そこら辺はちょっとアピールというのか、調査というのか、確実に停める場所を確保していないので、駐車場がちょっとあったらなという声

を聞きました。

親からのメッセージは、議員さん方、本当に後ろにいらっしゃったんですけども、もう本当にすばらしいねとって、子どもそうですし、親からのメッセージも本当によかったなと思います。

槇委員長 ありがとうございます。

まず、駐車場のことは、ちょっと考えてください。

中屋敷教育長 そうですね。

槇委員長 それでは、報告第3号学校・家庭・地域の教育フォーラムの日程変更についてお願いします。

日高社会教育課長 報告第3号学校・家庭・地域の教育フォーラムの日程変更についてご報告をさせていただきます。毎年実施をしております学校・家庭・地域の教育フォーラムでございますけれども、3月11日に実施するということで進めていたところなんですけれども、危機管理課が防災フェスタを同日に実施するというので、日程が重複していることが判明をいたしました。フォーラムのほうを3月10日で実施するという日程の変更をさせていただきたいと思っているところです。

また、会場ですが、TENAMUビルとなっております。内容については、事例発表、それからぞう列車のアニメ上映、絵本の読み聞かせ等を考えております。これまでの文化会館からTENAMUビルに変更したことで、人数の制限であったりとか駐車場の問題、これについてもいろいろと課題が出てくるかなと思っているところなんですけれども、TENAMUビルで実施するというので、発表者と参加者が気軽に話せる交流のいいフォーラムにしたいという関係者の思いもありましたので、またTENAMUビルの交流スペースの利用促進、これにもつなげたいと考えておるところです。

社会教育課で実施しているイベントもいろいろあるんですけれども、内容は今のところいろいろと固定化してきているというようなところもありますので、このフォーラムを見直していく良いきっかけになればと考えているところです。今年実施してみて、またさらによい方向につなげたいと思っておりますので、また日程が近くなりましたらご案内を改めて差し上げ

ますので、どうぞよろしくお願いいいたします。以上です。

楨委員長 ほかが質問ないですか。(なし)

楨委員長 それでは、報告第4号第8回宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会についてお願いいたします。

深田スポーツ振興課長 先ほど教育長からも報告があったわけなんですけれども、今回はAチームが2位、Bチームが9位、Cチームが14位という結果でありました。20ページ以降に各個人の区間順位等は掲載をいたしております。今回Aチームは、昨年2位だったんですけれども、タイム的には遜色なかったわけなんですけれども、なぜか宮崎市とのタイム差が2分近くになっておりまして、やっぱりレベルアップが必要ではないかと反省会等が出たところでございます。今後、優勝を目指す上では、やっぱり小中学生のレベルアップが絶対必要であると。ここの部分で全区間宮崎市の小中学生に負けておりますので、新年度早々そういうメンバー等のリストアップを行いまして、通常であれば10月以降に指導を行うわけなんですけれども、それより前倒しを行いまして、小中学生の合宿等を行って、さらにレベルアップを図りたいということで意見が出たところでございます。

一般、高校生の部も、若干今回は力が落ちたのかなと思いますけれども、宮崎市が余りにも早過ぎたというのが現状で、宮崎市は6チームほど出ておりますので、選手で走るためにはそれなりの努力が必要になってきます。そういう切磋琢磨する状況が小林市にもあれば、もうちょっとレベルアップが図られるのかなと考えております。

駅伝競走大会についての報告は以上でございます。よろしくお願いたします。

楨委員長 何かご質問ないでしょうか。

宮崎市も一般は小林高校の卒業生ですよ。

深田スポーツ振興課長 はい、宮崎の一般の第6区と第10区の選手は小林高校のOBです。

楨委員長 すごいですね、こうしてみると。高校生も小林高校ですもんね。

深田スポーツ振興課長 日南市Aの最終区を走っています選手も小林高校で今のエースでありますので、小林市も宮崎日大からエースの応援をいただきました。

楨委員長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。どうもありがとうございます

ました。

槇委員長 それでは、議案第1号に移りたいと思います。

小林市使用料の徴収に関する条例の一部改正についてお願いいたします。

山下教育部長 それでは、24ページをお願いいたします。

小林市使用料徴収に関する条例の一部改正について、教育委員会の承認を
求めるものでございます。

25ページ、26ページにありますように、教育委員会では校長住宅が1
2戸、教頭住宅が5戸、細野教職員住宅が14戸、須木地区住宅が5戸保
有しております。この中の須木地区の下永田住宅5戸のうち2戸につつま
しては、ここ10年以内の入居はありませんでした。今後利用の見込み、
入居見込みがないこと、それからほかの目的での使用も見込まれないとい
うことを協議いたしまして、29年度の当初予算で解体工事費を計上して
おりましたが、今年に入りまして、1月15日に工事が完了いたしました。
本日別資料で写真をお出ししているんですけども、まず1枚目の写真を見
ていただくと、これがちょうど車が停まっているところと、その奥に車が
停まっているところが写っていますが、ここの2棟になります。ここの
庭に停まっている車については、隣の須木診療所の職員の方たちが庭にい
つも停めさせてくださいということで、ここに7、8台いつも停まっている
状況でありました。

めくっていただいて、これが解体が終わって、真っさらになった状態であ
ります。ここにつつましては、現在、教育委員会の財産になっているんで
すけれども、これも市長部局へ返しまして、市の行政財産になる予定で、
進めております。その後の利活用については、正式にはまだ聞いていない
んですけども、管財課と須木庁舎で検討はされるのではないかなと思っ
ております。

この解体して普通財産にしたことによりまして、この25ページの表の5
段目にあります下永田9, 500、それから46、47の5というふうに
ありますが、これは5棟という5戸の意味ですので、この5戸を29ペー
ジの2段目の表になるんですが、このやはり5段目、下永田の住宅の数字
を5から3というふうに変更をするという改正案でございます。

説明については以上になります。

槇委員長 ありがとうございます。

何かご質問ないでしょうか。

中屋敷教育長 よろしいですか。教職員住宅の今後の維持管理については、やっぱり教育委員会ですら十分協議をして、方向性を出していかなければいけないというふうに事務局では考えているということです。といいますのは、具体的な数字がわかったら教えてほしいんですけども、年間にかかる維持費と修繕とか、それと古くなっていて、入居者がなかなか入ってこないという現状がある。もっと言いますと、小林出身の管理職は持ち家があるわけですね。総合的にこれは考えて手を入れるのか、それとももう少しずつ財産を整理していくのかというところは、教育委員会の合議でやっていかなければいけない問題であると思っています。

槇委員長 もう須木にはほとんど住んでいないのですか。

中屋敷教育長 須木の場合は、住める状態になく募集ができない状況にあるということから、こういう形になったんです。まだ市の教職員住宅は他にもあるんですよ。そういうこともあって、住宅を整理していったわけです。細野教職員住宅は全部入っていますか。

川俣調整職員 3戸空いてます。

中屋敷教育長 そういう実態です。

また、先ほど言ったように、野尻小の校長も小林の出身でありますので、野尻の校長住宅を借りているんですね。西小林中学校の校長も小林に自宅があって、横に住宅がありますから、借りているという話です。

大部 薫委員長職務代理者 ちょっと確認ですけれども、ご自宅はどこか市内にあっても、その校長住宅、校長先生になられるとそこの住宅を借りなくちゃいけないんですか。

中屋敷教育長 今、借りています。借りていただいているという形ですね。

大部 薫委員長職務代理者 そうなんですね。

中屋敷教育長 それは借りなくて、そこの職員が入っている場合もあります。それはケース・バイ・ケースなんですけれども、どうしてもその住宅がないとって、そこを譲る場合もあるらしいです。そこはケース・バイ・ケースでしてい

ますけれども、基本そこを空けるということは考えていないですね。

楨委員長 他に何か質問はよろしいでしょうか。(なし)

ありがとうございます。

楨委員長 それではよろしいでしょうか。

平成30年第1回小林市教育委員会定例会を終わりたいと思います。どうもお疲れさまでした。

閉会 17:00

委員長

委員長職務代理者

委員

委員

教育長

調製職員
